

「アートによるまちづくり」のアイデア募集 補足資料

令和6年12月 千葉市

はじめよう、アートのみちづくり。

地域をもっと元気にしたい。
地域のみんながつながり、未来をともに作りたい。

いまこそ、アートの力を活かすとき。

このまちを一番知っている、みなさんが主役です。

「アートのまちづくり」

さあ、一緒にはじめませんか。

千葉市の想い

- アートには、私たちに気づきや感動を与えるとともに、癒しや元気を与えてくれます。
- 中でも現代アートは、作品制作や交流を通じて、同じ時代を生きるアーティストと市民が、社会的な課題や悩みを共有し、気づきを得ながらよりよい未来へと向かっていく、その媒介となる力を持っています。
- このような現代アートの力を活かし、地域の課題解決を図る自主的な取り組みを、一過性でなく継続的に展開することで、地域がより元気になり、さらには千葉市全体も元気になっていくと考えています。
- 「アートのまちづくり」は、文化芸術の中で閉じるものではなく、アートを媒介として、教育、福祉、観光経済など様々な政策領域と連携しながら、課題を解決していくことを目指します。
- また、地域に暮らす住民や団体、企業、教育機関、そして行政が連携して取り組むことで、地域の新たなつながりや交流を生み出し、広げていくことを目指します。

ご提案いただきたいポイント

• 将来ビジョン

ご提案の取組みによってどのような地域にしたいのか、将来ビジョンを掲げてください。

• プロジェクト内容

将来ビジョンの実現のため、どのような取組みを行うか、以下の点を含め、できるだけ具体的にご提案ください。

①対象地域

②活用したい地域資源 ③解決したい社会課題

④アート（現代アートを中心とした美術）の活用方法

⑤事業規模（期間や事業費など）

⑥取り組む主体・連携する主体 ⑦千葉市に期待する役割

提案にあたってご確認いただきたいこと（詳細事項①）

- ✓ 中長期な視点から、将来ビジョン（目指す地域の将来像）を示すこと。
- ✓ 現代アートを活用を核とした、地域の課題解決や活性化など、まちづくりに効果のある取組みであること。
- ✓ アーティストと地域の主体が、一緒に取り組むものであること。
（単なる作品鑑賞にとどまらない、企画や制作などを通じた協働や交流が重要なため）
- ✓ 対象地域は、千葉市内とし、〇〇駅周辺や、中学校区など、ある程度広域であること。
（地域内の空間資源や人的資源の集積が必要となることや、効果の広がり・相乗効果創出のため）
- ✓ 教育、福祉、観光、経済など、文化芸術以外の政策分野と連携した取組みであること。
- ✓ 持続性があり、将来的に提案者を中心に自走化していく取組みであること。
- ✓ 発展性・拡張性がある取組みであること。
（地域の主体の参画・連携や、対象とする政策領域などが広がっていくことが重要なため）
- ✓ 提案者の主体的な取組みであること。
（千葉市は提案内容に応じて協働・支援しますが、主体はあくまで提案者となるため）
- ✓ 取組みにあたっては、地域の理解や協力を得るよう、提案者が主導的な対応を行うこと。

提案にあたってご確認いただきたいこと（詳細事項②）

✓ 千葉市の協働・支援について

- ・ご提案が採択された場合、千葉市は役割分担を踏まえた協働・支援を行います。
- ・協働・支援のうち、活動に必要な資金に対する支援については、「千葉市前澤友作アートのまちづくり基金」の活用を想定しています。
- ・対象経費や負担割合など、詳細については、ご提案を受けてからの協議に基づき決定します。
- ・将来的に自走化を目指していただくため、活動の初期段階に対する支援を想定しています。

ご参考（イメージを高めていただくために）

- ・ご検討にお役立ていただくため、他自治体の事例を参考に以下のイメージを作成しました。
（あくまでも参考のため、これに縛られる必要はありません）

✓ アートを媒介にした交流拠点の創出

【たとえば】

- ・空き家や空き店舗などを活用してアーティスト・イン・レジデンスを整備（ハード）し、アーティストと地域住民による作品の共同制作や、交流機会の継続的な創出（ソフト）。
- ※ソフト事業を実施する上で必要となるハード面の環境整備は提案可能です

✓ 地域の課題解決・政策間連携

【たとえば】

- ・高齢者の孤立防止・健康寿命延伸のためのアートプログラム（アート×福祉）
- ・障害者やパラアートと共生するアートプログラム（アート×障害）
- ・日本人市民と外国人市民が交流するアートプログラム（アート×多文化共生）

✓ 官民連携・持続性の確保

【たとえば】

- ・NPOが主体となり、地域の住民や企業の社員・学生が参加・支援で連携
- ・将来の自走化に向け、クラウドファンディングや企業協賛などによる活動資金の確保

**意欲的なご提案、
心からお待ちしています！**